

## ご挨拶

難波新市長の下、初の定例会6月議会が開催されました。

市長より示された施政方針や政治姿勢に対して、多くの質問がなされました。市長は、淡々と物静かな口調で理論的に答弁をされました。政治姿勢には「市民が安心感を持てる温かい社会を共に創っていく」ことが根底にあり、私も大いに共感するところであります。

行政運営においては「根拠に基づく政策の立案・実施」とし、主観ではなく客観的な事実に基づいて取組まれるところも期待できます。一方、本市は防災や経済活性化、人口減少対策など「待ったなしの課題」が山積しており、その解決に向け提言してまいります。

静岡市議会議員 石井 孝治



## 難波市長 所信表明（施政方針概要）

### ● 時代認識

世界は地球環境の世紀と知能革命の時代という大変革期を迎えている。DX、GXは単なる視点ではなく、有力な政策手段として最重点で取り組むべきもの。



難波喬司市長

### ● 第4次総合計画（4次総）の評価

4次総の内容は、政策・施策・個別事務事業を体系的に示しているもの。例えば「あらゆる危機から市民の命とくらしを守り安心安全なまちを実現します」等、当然継承すべき施策が展開されていることから、継承すべきものである。一方、3つの点で不足している。一つは時代認識、二つ目は市政運営の方法、三つ目は人口減少問題への対処です。4次総では、定住人口については社人研が実施した将来推計を上回る「定住人口」を掲げているが積極的な取組はあり

ません。私は、定住人口の減少の流れを変えることが必要と考える。4次総については、「発展的に継承する」のが立場。

### ● 市政運営の方針

目指す社会の姿⑥「安心感がある温かい社会」とし、みんなで共に創っていく「共創」で実現していく為に「根拠と共感に基づく政策執行」により「温かい市政」を行っていく。「共創」：地域には社会を良くしたい思いと行動という「社会の大きな力」があり、世界には「大きな知」がある。それらがうまくつながれば、社会問題の解決や新たな価値・魅力づくりの大きな力となる。地域づくりの主役は「人」であり「社会」です。

### ● 根拠と共感に基づく市政変革研究会

これらの考えを実現するため、具体的にスタートさせたもの。第1回研究会では、これまでの政策形成には無かった、未来社会を見据えた新たな視点からのご意見を頂いた。今後は、委員には政策アドバイザーとして、市の若手職員と意見交換を重ねて頂き、防災、DX、GX、子育て・教育などの個別のテーマ毎、分科会での検討を進めていく。

## 2023年度 市議会に於ける石井孝治の役職

○ 静岡市議会第2会派「創生静岡」総務会長

○ デジタル社会推進特別委員会 委員

便利で暮らしやすいデジタル社会の実現に向けて、ICTを活用した市民の安全安心の確保や市民サービスの向上、行政の効率化等に係る調査及び施策の推進に関する協議・討議（意見交換）・提言等を行うこと



○ 静岡市議会観光文化経済委員会 委員  
観光交流文化局及び経済局並びに農業委員会の所管に関する事項

今議会、観光文化経済委員会において「静岡マラソン」の再開に向けた1億円の補正予算の審議がありました。開催の意義や、インバウンドの効果は理解するところであり、賛成しました。一方で開催コストの増加や、マラソン大会供給過多によるランナーの減少、特に運営を担うことになる本市のノウハウ不足など懸念を指摘し、進捗管理を徹底することを要望しました。



## 西ヶ谷清掃工場の溶融スラグ

### ◆ 岩手県八幡平市・盛岡市編

#### ◆ 八幡平市花き研究開発センター（八幡平市）

八幡平市は「りんどう」の栽培が盛んで、現在は国内生産額日本一、国内需要の3割以上を占めている。品質も高く評価され、「安代りんどう」ブランドは世界に認知され、様々な賞を受賞している。「りんどう」の養生に静岡市の西ヶ谷処理場より排出される溶融スラグを肥料として散布し、育成具合の調査を2021年より実施している。その結果として、溶融スラグを与えたりんどうの育成は与えなかったものより生育が良く、有効性がある結果が出ている。今後は試験から本栽培にフェーズが移っていくとのことで、溶融スラグのさらなる利活用が進められていく予定である。



研究開発センターの皆さんと

#### ◆ 株式会社オービットワン（盛岡市）

株式会社オービットワンでは、畑わさびにスラグを肥料として散布している。また、営農型太陽光発電も取組み、放棄地となった畑を再生している。



営農型ソーラーパネル

農地法により、農地の転用ができず、担い手がない農家からの農地を借り上げ、または購入し、ソーラーパネルを農地の上に設置。パネルの下には農地の8割を下回らないように作物を栽培することが必須のため、耕作放棄地も減少する。

農家にとっては土地を借りてもらうことによって収入を得、発電事業者にとっては土地を安く利用し、売電での利益や農業での収益を上げることができる。また、行政は耕作放棄地を減らすことができ、再生可能エネルギーに取り組む町としての知名度も向上することができる。このように誰にとっても利点の大きい取り組みを実施している。

## 第12回高等学校応援団フェスティバル IN 静岡

## 脱コロナで 開催



市役所前御幸町会場

6月24日・25日晴天に恵まれた市役所前御幸町会場及び静岡市民文化会館大ホールで、「第12回高等学校応援団フェスティバル」が開催された。昨年まで、コロナの影響で十分な声出し・声援が制限されてきた応援団の生徒たちにとっては入学以来初の公式の場での応援披露の機会となった。市内校・静岡高校・静岡商業・常葉橘高校をはじめ、県内8校、県外から、富山商業・本郷高校・甲府工業高校・埼玉県6校応援団連盟が参加。個性豊かな演武が披露された。

難波市長も歓迎挨拶の後中央席から観戦され、「感動しました。すごいですね。このイベントの意義が理解できました」との感想を頂いた。3年生にとっては、最後の夏。練習のみで過ごした3年間の思いが各団長から語られ、演舞後は高揚した面持ちで「思い切り演技が出来ました。応援団は多くの人に元気を与える立場。試合に負けたら自分たちの責任。勝ったら選手の栄光がモットーですが、今日は会場の皆さんに本当に応援をもらい感動できました」と、このイベントに参加できたことへの感謝の思いが述べられた。



静岡市民文化会館大ホール会場

高等学校応援団フェスティバルには第1回目から実行委員として参加させていたでいます。フェスティバル当日は舞台進行としてステージ全体の管理をしています。

進行をしながらいつも感じるのは、高校生の応援に取り組むひたむきさと礼儀正しさです。その姿勢は彼ら彼女らの今後の人生でも宝になると思います。

この伝統はこれからも絶やすことなく引き継いでいただきたいです。

来年は8月3・4日静岡市民文化会館での開催となります。ご期待ください。

## 各地のお城・・・岡山城編・・・



岡山城前にて

築城は1597年、豊臣秀吉の指導により、宇喜多秀家により行われた。旭川の河道を利用して、流れを現在のように城に北や東を守るように整え、堀づくりに活用し堀の間に長い城下町を作り上げた。今ある岡山城は、観光城として鉄筋コンクリート構造で再建され、岡山城・岡山市の歴史資料館として活用されている。夏の「烏丸城」では、周辺が特別ライトアップされて天守では8時までの夜間開館も行われている。企画コーナー展示では、磯田道史先生コレクション展・殿様のアートが行われていた。11月に、リニューアル1周年を迎える。

● 静岡市政への反映 本市に新しく開館した「静岡市歴史博物館」。展示内容を今後研究する必要がある。岡山城では、観光資源として見せる展示が丁寧に行われていた。映像では、歴史的解説のパートで当時を復元し、岡山市の魅力が大きく伝えていた。また、15分程度の磯田先生の解説では、関ヶ原合戦の東軍の勝利の背景には、岡山の宇喜多秀家の貢献が大きかったと秀家公を岡山の盟主として紹介され、地域の誇りをPRする姿勢があり、岡山を印象付ける効果を感じた。今後、本市の「静岡市歴史博物館」を始めとする、観光資源の活用には、単なる「展示」で終わらない、本市の観光資源・歴史資源を効果的に印象強く伝える仕組みづくりの重要性を提言したい。

## ❖ 大河ドラマ館リニューアル ❖



### ● 所感

浜松・岡崎・関ヶ原と各地の「大河ドラマ館」を見てきました。ドラマもいよいよ天下人を目指す所となります。「静岡市の歴史」を知り、誇りある郷土を確認したいものです。



大河ドラマ館  
ホームページ  
QRコード

## 市民環境教育委員会

### 昨年の台風15号災害で災害関連死が複数か

**災害弔慰金等支給事業** 1,800万円

台風15号災害で被災し、死亡・後遺障害で災害との関連が認められた方に弔慰金・見舞金を支給。現在複数の申請がある。

**市立高校振興事業** 410万円

静岡市立高校の理数科教育における科学探究プログラム実施費用。今年度は国のSSH認証が見送られ、市負担が生じた。

このほか環境局の沼上最終処分場、埋立地造成工事30億9,823万円余の契約議案がありました。現処分場は容量が満杯に近いため新たに13万2千㎡を増設します。ごみ減量の更なる推進が求められます。



埋立容量が逼迫する沼上処分場。左が1990(H2)年で、右が2022(R4)年

## 観光文化交流委員会

### 物価高騰対策と地域経済活性化のための予算編成

**中小企業等電気料金高騰対策支援事業** 4億2,040万円

電気料金の高騰の影響を受ける中小企業に対し、高騰分を支援支援額：1.5円/kWh(電力量料金単価上昇分の1/2)、上限30万円

**静岡マラソン開催事業** 1億円

コロナウイルスの影響により休止していた大会を早期に再開するため、行政と民間が共働して実施



いまだ続く物価高騰に対応するため、低所得者世帯や消費喚起への対策に続き、今回は中小事業者への支援です。適切な支援が届くようにきめ細やかな対応が求められます。静岡マラソン再開は地域経済の起爆剤として期待ができますが、市の負担額も倍増しました。貴重な財源を無駄にすることがないよう、丁寧な事業推進が不可欠です。

## 厚生委員会

### 物価高騰による財政的支援議案が中心となり下記のような多くの施設が対象に

**物価高騰に対する各事業者への支援** 3億4,030円

電気・ガス料金・食材料費の高騰分を支援

対象：介護施設・障害者福祉施設・軽費老人ホーム・救護施設・私立こども園・児童養護施設・里親家庭・民間放課後児童クラブなど

**認定こども園整備事業費助成** 1,712万円

静岡聖母幼稚園・有度幼稚園

**生活保護システム維持管理事業** 1,245万円

物価高騰による介護施設や老人ホーム・私立こども園等を中心に施設の運営・管理に支援が必要とされるための予算。スピード感をもって実施するよう要望しました。



## 都市建設委員会

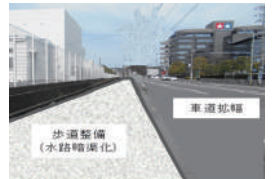
### 安心・安全の確保と社会基盤整備

**【都市局】**

**道路新設改良事業** 1億6,800万円

**大浜公園再整備事業** △1億6,313万円

設計・解体・建設工事費の減額



**【建設局】**

**建設発生土受入地確保事業** 1,000万円

**巴川流域治水対策等事業** 8,950万円

巴川流域等の新たな治水対策の検討、気象予測・雨量・河川水位を基に予測モデルを活用した水位・氾濫を予測するシステム

**交通安全施設整備事業** 1億6,353万円

建設発生土受入地確保事業1,000万円計上。熱海市における建設残土「盛土」の土石流災害を教訓に、本市に於いては葵区山間地の杉尾と大間に大量の建設発生土の盛土があり、県と市と業者による対応策が求められています。そこで、本市は市域内に建設発生土受入地の確保に向けて受入候補地の公募や周辺環境や安全性の検証などを実施します。

## 総務委員会

### 静岡市交流会開催事業 660万円 (令和5年12月中旬・東京都都市センターホテル)

・首都圏における人的ネットワークを活用して、静岡市の魅力情報を発信する。また本市出身の皆さんとの交流を通して首都圏での更なるネットワーク構築を目的に毎年開催されている。



(所感) コロナ禍の影響で本年は3年ぶりとなる「静岡市交流会」が12月に開催される。PR下手の静岡市が首都圏での認知度を高め、更に「行ってみたい・住みたい都市」として高く評価されることを願うばかりです。「交流会」が単なる懇親会に終わることのないように充実した企画を要望しました。

## 企業消防委員会

**【消防局】** 1億972万5千円

高規格救急自動車5台購入



昨年度は呉服町火災殉職事案・不祥事等が相次ぎました。市民の生命・財産・公衆衛生を守るため昨年に引き続き議論の深化に努めて参ります。

※上下水道局トピックス

最近の大雨災害は深刻な問題です。河川などへ流れる雨水が減り浸水被害を軽減できる、雨水貯留タンク・雨水浸透ます・不用浄化槽転用施設の設置に必要な費用の一部を市が助成します。詳しくは「上下水道局 下水道部 下水道維持課 排水設備係」へ



## 本市の人口減少対策について ＝ 創生静岡の代表質問にて

①行政経営 ②本市の人口減少問題 ③大規模建設事業（清水庁舎・海洋文化施設） ④台風 15 号の被災支援 ⑤「盛土」の実態と対策 ⑥災害時における避難所対策 ⑦リニア新幹線建設 ⑧森林資源の活用 ⑨市営住宅の住環境 以上 9 項目です。（静岡市議会 会議録、インターネット議会中継などで公開しています。）



難波市長の答弁

**【質問】**人口減少問題に対する市長の考え方はどのようなか。

**【市長答弁】**国勢調査によると、静岡市の人口は、約30年前、平成2年の739,300人をピークに減少し続け、直近の令和2年では693,389人となり、この期間の減少率は6.2%と、全国20ある政令指定都市の中

で、2番目に高くなっている。一般財団法人静岡経済研究所の分析によれば、県内における2015年の13歳から18歳の女性人口と、そこから5年経過して進学や就職時期を迎えた2020年の18歳から23歳の人口を比較すると、約15,000人減少している。一方、本市では、その数は約300人にとどまっている。本市の人口減少の要因の一つとして、合計特殊出生率が県平均よりも低く、生涯未婚率が県平均よりも高いことが挙げられる。これらは、いずれも一時的なものではなく、合計特殊出生率は1990年代後半から、生涯未婚率（50歳時点の未婚率）は、少なくとも、その経過が統計データから明確に確認できる1980年から40年もの間、その傾向が続いている。結婚を希望する、子どもを持つことを希望する誰もが、安心感を持ってそれを実現できる社会づくりが必要だということです。



## 視察報告 岡山県岡山市

### 『ムスリムを呼び込むインバウンド戦略について』

岡山市は、世界人口の4分の1を占めるムスリムに注目。中でも、マレーシア・インドネシアといった若年層の人口が多く、かつムスリム人口が9割を占める国に的を絞った。



英語表記や、イスラム教の戒律に基づいた豚肉やアルコールの禁止などの認証制度を導入。市内の企業・住民の理解に努め「ムスリムフレンドリーな環境」を整備。2016年からの取り組みの結果、宿泊者数が4年間で2.2倍に増加と、コロナ前の2019年時点で一定の成果を納めた。



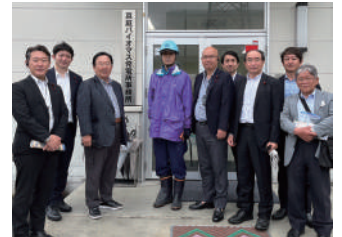
**【市政への反映】**静岡と同じく、外国人旅行者にとっては通過してしまう都市である岡山市。本市も画一的なインバウンド対応ではなく、ターゲットを定めるなどの根拠に基づいた戦略的な施策を進めていくよう提案して参ります。

## 地域循環型「真庭バイオマス発電所」を視察

### 難波新市長のふるさと岡山県真庭市は再生可能エネルギー 100%！

真庭市は平成25年に9つの市町が合併、現在の人口は43,000人。市内の森林面積は本市と同じく約78%。従来から山林業が盛んな地域で山林業者150件、製材所は30件、15か所のチップ工場が現存。それらが協力し、平成25年にFIT（固定買取制度）を利用し、容量1万キロワットのバイオマス発電所が建設されました。

発電所の年間収入は22億円、世帯数で22,000世帯分の電力を発電。年間1億円の経常利益に加え、山林地主への4億円を還元、市内の庁舎や大型公共施設の電力を自給しています。



**【市政への反映】**静岡市については流域ごとの小規模バイオマス発電所の可能性を引き続き調査して参ります。

## 新市長と創生静岡

### （静岡市長選挙前の創生静岡との協定内容）

創生静岡は、難波喬司氏と昨年12月16日静岡市議会会派の先陣を切って政策協定を結びました。①「静岡市民が幸せを実感できる静岡の実現」②危機管理体制の強化 ③「人への投資」を基本として、市民が「夢と希望」を抱ける静岡市を創ること、で意見が一致致しました。



### （新市長の姿勢）

難波静岡市長が就任して3ヶ月。施政方針では『目指す社会の姿を「安心感がある温かい社会」とし「根拠と共感に基づく政策執行」による「温かい市政」を進める』と表明。「静岡市第4次総合計画」（4次総）では、継承の立場。一方、十分ではない3点について指摘。①時代の潮流についての基本認識②市政運営の方法③人口減少問題

への対処。①では、世界は「地球環境の世紀と知能革命の時代」とし（DX）（GX）は最重点で取り組む。②では市政運営は「行政経営」。③では4次総では「定住人口」増についての積極的な取組みがないと指摘。静岡市の人口減少率が県や浜松市よりも高く、出生率が低い事や生涯未婚率（50歳時点の未婚率）が高い事が原因であるとし、データ・現実を直視した政策が必要と明言した。

### （新市長に期待するもの）

今議会では、難波市長から施政方針が示され、4次総の評価では目指す社会の姿は、創生静岡の「静岡市民が幸せを実感できる静岡の実現」と一致するものです。また、「人への投資」を主張してきた立場から、今回「定住人口」増に逃げずに取り組むことが示され、大長副市長を統括官として全庁的な施策検討を進めるとのことで、重要な政策に焦点を当てる結果となった。また、大規模事業「海洋・地球ミュージアム」「アリーナ」「サッカースタジアム」についても、精査すること。「根拠と共感に基づく政策執行」に大いに期待したい。今後の市政運営を創生静岡は変わらず「是は是・非は非」の姿勢で確認していきます。